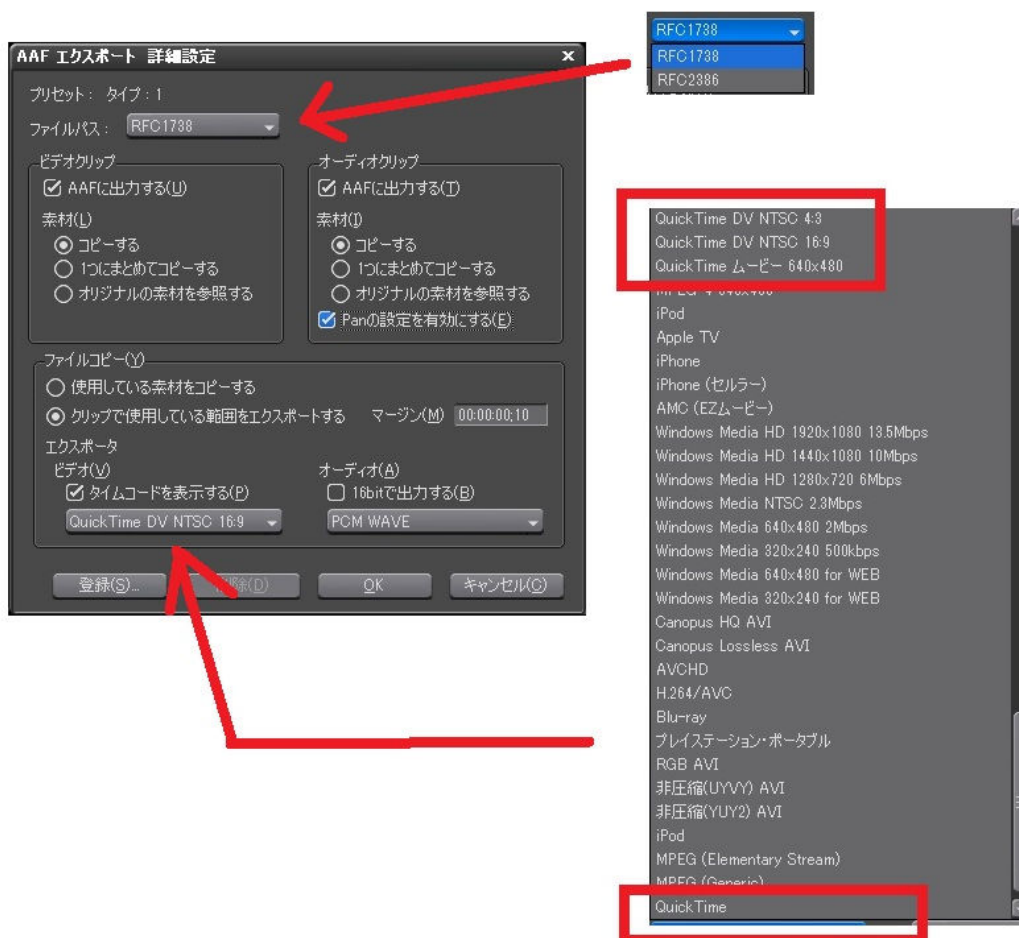


EdiusからのAAFインポート


1. Ediusからのエクスポート

EdiusでビデオとオーディオをAAFで出力します。「エクスポート詳細設定」は下図を参照して設定してください。

- [ビデオクリップ]内の条件の項目で「1つにまとめてコピーする」にチェックを入れると、より速くエクスポートができます。
- [ファイルコピー]内のエクスポートの設定は、「Quick Time DV NTSC 16:9」を選択してください。
- 「マージン(M)」は、少なければ少ないほど変換速度が上がります。オーバーラップが無いことが予想される場合は、00:00:00:0にされることをお勧めします。

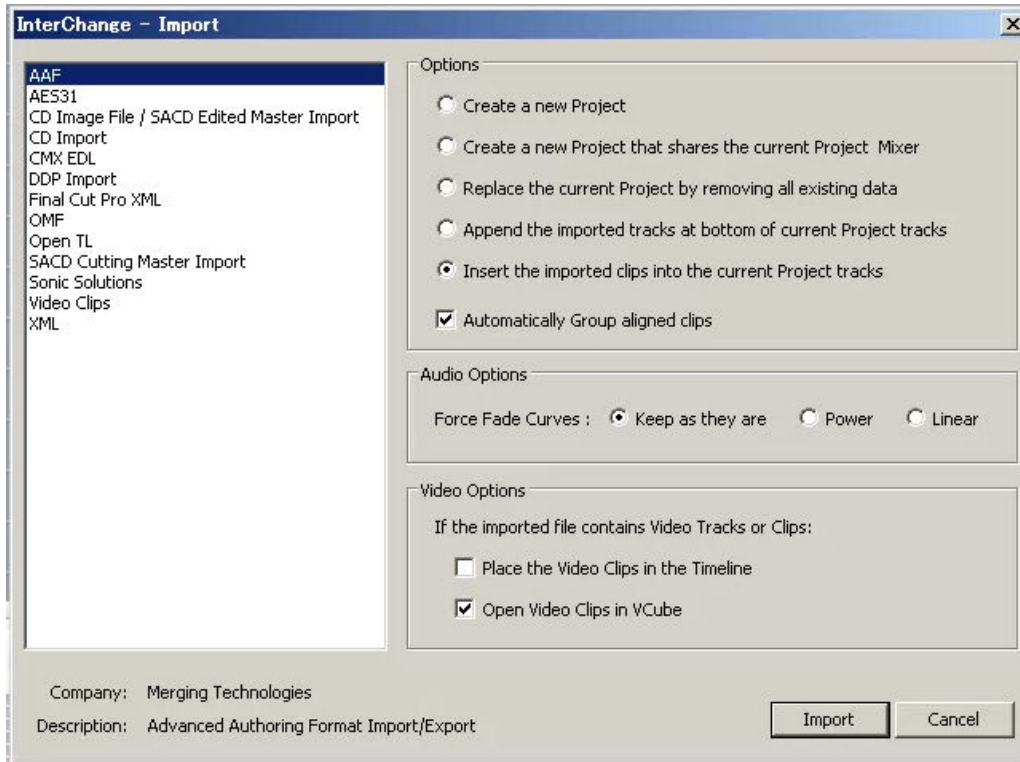


できあがったファイルをフォルダごとUSBメモリーやHDDにコピーし、MA室に運んで下さい。
この中には少なくとも「xxxxx.aaf」というファイルと「xxxxx」というフォルダがあるはずです。

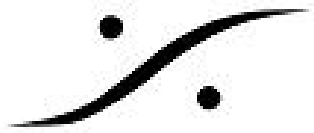


2. Pyramixでのインポート

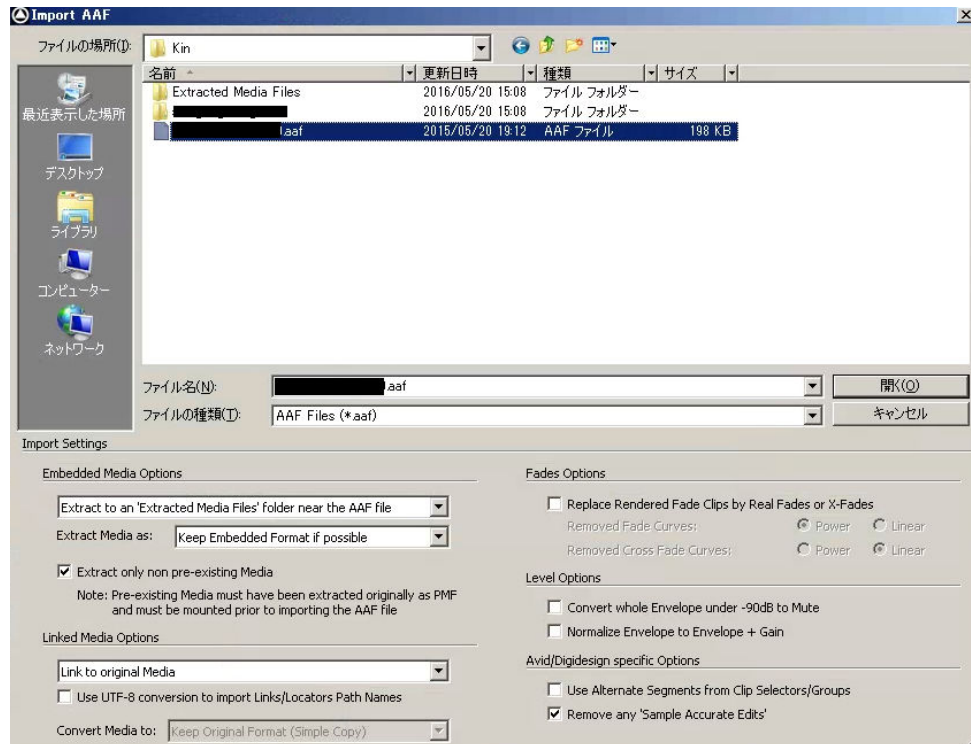
持ってきたファイルをフォルダごとPyramix PCのRAID HDDにコピーします。
PyramixとVCubeを起動し、テンプレートを開いておきます。
PyramixのProjectメニューで、Project > Import を開きます。



- 左側のコラムで「AAF」を選択します。
- 右側のコラムで「Insert the imported clips into the current Project tracks」(インポートしたクリップを現在のプロジェクトのトラックにインサートする)にチェックが入っていること
- 「Open Video Clips in VCube」(ビデオクリップをVCubeで開く)にチェックが入っていることに気をつけて、[Import]ボタンをクリックします(一度設定すると、次回も同様の設定となります)。



次にAAFをコピーした場所を探し、「xxxxx.aaf」を指定します。[Import Settings]は以下の通りに設定してください(一度設定すると、次回も同様の設定となります)。



以上の操作でビデオがVCube上に、オーディオがPyramix上に展開されます。

※ 最後に、v6.2.0以前のVCubeでは、AAFをインポートするとNon-Dropのフレーム レート設定となっております。設定タブ > フォーマット & シンクのページの「コンポジション フレーム レート」を「NTSC (29.97 fps drop)」に設定してください。

